

評 価 証

第 2 4 0 0 3 号

【 技 術 の 名 称 】

小径ループ継手による組立式栈橋上部工の構築方法

1. 依 頼 者

法人の名称 東洋建設株式会社
住 所 東京都千代田区神田神保町一丁目 105 番地

2. 評価の前提

本技術の適用にあたっては、本報告書の留意事項の他、依頼者が推奨する方法で使用されるものとする。

3. 評価の範囲

本技術の評価の範囲は、依頼者より提出された開発の趣旨、開発目標に対して、実証試験等の結果により確認できる範囲とする。詳細は、港湾関連民間技術の確認審査・評価報告書（第 2 4 0 0 3 号）に示す。

4. 評価の結果

- (1) 交番載荷試験結果から、小径ループ継手および杭頭鋼管による接合部を有する杭頭部は、従来工法（鰐プレートおよび鉄筋溶接による接合）と同等の曲げ耐力及び変形性能を有することが確認された。
- (2) 標準的に設定した栈橋上部工のモデルにおいて、従来工法（現場打ち RC）と比較して、海上作業の工程短縮および省人化が可能であることが確認された。

一般財団法人沿岸技術研究センターが定める港湾関連民間技術の確認審査・評価に関する実施要領に基づき、上記の内容を確認した。

なお、評価証の有効期間は 5 年間とする。

令和 7 年 3 月 3 1 日 第 2 4 0 0 3 号

一般財団法人 沿岸技術研究センター
理 事 長 宮 崎 祥 一

